

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
103-238	高等学校	外国語	論理・表現Ⅱ	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
177 増進堂	論Ⅱ 713	MAINSTREAM English Logic and Expression Ⅱ		

## 1. 編修の基本方針

教育基本法第一章「教育の目的及び理念」の第一条「教育の目的」・第二条「教育の目標」，および高等学校学習指導要領第2章 第8節「外国語」の第1款「目標」を実現するために，次のことがらが可能になるように編修することを基本とした。

- ①日本人，世界市民として21世紀に生きるうえでのコミュニケーション力（特に発信力・表現力）の基礎を築くこと。
- ②知識・理解にとどまらず，技能の習得・定着を図り，考え表現する力を伸ばすこと。
- ③わかりやすく学習しやすい素材と手順・方法を提供することにより，学習への意欲や英語への興味・関心を高めること。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Lesson 1	趣味や将来の夢などを含む自己紹介のスピーチを行うことで，聞き手の興味を引きながら，自分自身の人柄を具体的に伝える技術を培うものとした。また，他者のスピーチからクラスメイトの新たな側面を発見し，自分自身の知らない分野や価値観についての知識，教養を身に付けられるものとした。(第1号)	7-9 頁
Lesson 2	卒業後の進路や環境問題など，心配している事柄に関するスピーチを行うことで，問題を心配する気持ちだけではなく，心配が生じた原因や理由を整理して伝え，さらに他者に提案を求めるなど，解決に向けて他者に働きかける技術を培えるものとした。(第1, 2号)	11-13 頁
Lesson 4	自分自身が大切にしているものや特別に思うものについてのプレゼンテーションを行うことで，その詳細な情報や自分自身がそのどこに価値を置くのかを整理して伝える技術を培う。また，他者のスピーチから自分自身の知らないものごとや価値観についての知識，教養を深められるものとした。(第1, 2号)	25-27 頁
Lesson 3	「自分が校長先生だったら」という想定でのスピーチを行うことで，日々の学校生活を見つめなおし，より充実した時間を過ごすためにはどのように学校を変えるとよいかを提案させる内容とした。また，提案のメリットの強調など，自身の意見を戦略的にアピールする技術を通して，自分の周囲の環境に働きかける力を培う。(第2号)	15-17 頁
Lesson 6	遠足の行先を提案するプレゼンテーションを通して，資料や統計データなどを効果的に用いながら，自身の提案を戦略的にアピールする技術を培う。また，各人の好みに応じて選ぶ余地のある企画を Model として提示することで，個性の異なるクラスメイトたち皆が楽しめる遠足を目指そうという視点を，生徒たちが獲得できるものにした。(第2号)	33-35 頁

Lesson 7	オンライン・コミュニケーションという生徒たちに身近な話題を題材に、顔の見えないオンライン・コミュニケーションではどのような問題が生じるのか、他者を尊重したやりとりにはどのような注意が必要かをグループで考えさせるものとした。また、最終的にはガイドラインとして注意点をまとめさせ、実生活でも他者を尊重する行動の実践を促すものとした。(第 3 号)	43-47 頁
Lesson 8	環境についての意見文を読んで知識を身に付けたうえで、環境のためにクラスでできる行動をグループで考えさせ、実行可能な提案をまとめるものとした。また、自分自身も環境保全のために行動すべき一人であるという視点を、生徒たちが獲得できるものにした。(第 4,3 号)	49-53 頁
Lesson 9	動物園で暮らす動物たちは幸せかという命題を賛成・反対の両方の視点から考えさせることで、動物園が人間社会で果たす役割やその功罪、動物たちの生活を人間が管理する是非など、動物の命と権利について幅広い視点から考えさせるものとした。(第 4 号)	59-63 頁
Lesson 12	近年、その重大さが認識されはじめた環境問題であるマイクロプラスチックの問題について、マイクロプラスチックを放出する意外なものやその深刻な問題を詳細に示し、多角的な知識を身に付けられるように構成した。また、この問題に取り組む利益と行動を起こすうえでの挑戦を考えさせ、自分自身が環境保全のために何ができるかを考えさせるものとした。(第 4 号)	81-85 頁
Lesson 5	自分が住んでいる場所以外の都道府県について、その土地の特徴や特産物を紹介するプレゼンテーションを行うことで、その場所や地域が持つ魅力を確認するとともに、視覚資料等を用いて発信する力を身につけられるものとした。(第 5 号)	29-31 頁
Lesson 10	英語を日本の公用語にするべきかという命題について、グローバル化する社会の中で、英語の公用語化が日本社会にもたらす利益と不利益について考えさせるものとした。また、公用語が社会の中でどのような役割を持つかなど、国内に暮らす人々のルーツが多様化しつつある日本社会全体について考えさせるものとした。(第 5,3 号)	65-69 頁
Lesson 11	英語では長らく名一姓の順番で名乗られてきた日本人の名前だが、日本の伝統や文化、歴史的経緯、文化庁の見解、現実の使用場面や英語で姓一名順を用いた際に起こりうる弊害といった多角的な視点からこれを再考し、日本人のアイデンティティと密接にかかわる名前について、英語で名乗る際にはどのように名乗りたいかを考えさせるものとした。(第 5 号)	75-79 頁
Lesson 13	英語で俳句を書く活動を通して、世界で親しまれる日本文化への理解を深め、英語を創造的に使うおもしろさに気づかせるものとした。また、日本語で作った俳句を単に英訳するのではなく、英語のリズムや語感にも工夫を凝らしながら、季節の情景を描き出すよう促した。(第 5 号)	92-95 頁

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

○自主・自立及び共同の精神、自国や外国の文化への理解、他者の尊重、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養育するため、身近な日常生活にとどまらず、学校、地域・社会、世界と幅広い場면을題材として扱い、自らの意見を論理的かつ効果的に発信する力や、他者の意見を尊重し、円滑で実りあるやりとりを行う力を高めることに重点を置いた。

○豊かな創造性と自分自身の意見を戦略的に表現する技術を養うため、さまざまな形式の視覚資料を用いたプレゼンテーションを活動として取り入れた。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
103-238	高等学校	外国語	論理・表現Ⅱ	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
177 増進堂	論Ⅱ 713	MAINSTREAM English Logic and Expression Ⅱ		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### (1) 題材等について

- ①生徒が様々な話題について学ぶことができるように、バランスよく話題の選択をすること。そのために、身近な日常生活から学校、地域・社会、世界というように扱う範囲を広げるように配慮した。
- ②さまざまな話題を扱うために必要な語彙・表現を提示すること。そのために、Expressions, FOR MORE USE, Improvement Tips などの欄を設けて、生徒の言語活動を補助できるようにしてある。
- ③知る→考える→表現するという手順を踏まえながら、知識や理解したことを運用できるように持っていくこと。「知った」ことからは「使う」ことで定着する (intake) という考えに基づき、学習したことを生徒自身が使えるような練習を用意し、考えたり表現したりできるようにしてある。
- ④大きな枠組みとして、まずは音声や題材に関する情報提供を重視する内容から始め、その後、文字や生徒自身の情報収集を重視する活動へつなげていくこと。主として「話すこと」と「書くこと」を目的としている科目であるものの、学習指導要領の「目標」にもあるように、「聞くこと」や「読むこと」と関連させて指導するようにしてある。
- ⑤コミュニケーションをする必然性のある状況設定をし、生徒の学習への動機付けを高めるような活動を用意することで、より積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成すること。「状況」は「場面」に限らず、話したり書いたりする「形式」(プレゼンテーション、ディスカッション等)といったことも含めて配慮してある。
- ⑥各課において、最終的にはきちんとした文章を「発表する」「書く」ことを目指すこと。そのために各課で Improvement Tips やリポーティングの例をふんだんに配置したほか、「表現するための文法」を GRAMMAR COMPASS で学習・練習できるように構成した。
- ⑦さまざまな生徒や教員に対応できるように、教科書・付属教材等とともに工夫を施すこと。

### (2) 構成等について

- ①全体の構成としては、Part 1~4 では、スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベートのそれぞれの活動に加えて簡単なライティング活動も行い、Part 5~6 ではエッセイや創造的な英文を書く活動をするというように、主に活動内容の観点からパートを分けた。また、Part 1~5 の各パートにおいては、身近な話題から徐々に社会・世界を視野に入れたものへと発展していけるよう配慮した。
- ②各 Part の最後には、各活動を行う上でのより詳細な留意点や便利な表現集、さらに発展した活動などをまとめたコラムを配置し、Lesson 中に参照できるようにした。
- ③各課は、題材内容と言語材料(文法事項・機能)を密接に関連させるように構成し、両面で効果的な学習が可能ないようにした。
- ④Part 1 ではスピーチを行う。趣味や将来の夢などを交えた自己紹介や学校にまつわる内容など、ごく身近な事柄を題材として取り上げ、自分自身の人柄や意見を整理し、聞き手の興味を引きながら表現する力を培うことに重点を置いた。
- Part 2 ではさまざまな視覚資料を用いたプレゼンテーションを行う。自分にとって特別なものや日本の地域、学校の行事企画などを題材に、Show and Tell やポスター、スライドといった視覚資料を効果的に使って、自分の考えや情報をわかりやすく説明する技術を身につけられるように構成した。
- Part 3 ではディスカッションを行う。オンライン・コミュニケーションや環境保全など、比較的生徒にとっても身近に感じられる社会的な題材を取り上げ、自らの意見を論理的かつ効果的に発信する技術や、他者の意見を傾聴し円滑なやりとりを行う技術を身につけられるよう構成した。また、各単元ではグループとしての結論をまとめることも目標となっており、この目標に辿り着くために、司会者の役割についても重点を置くようにした。
- Part 4 ではディベートを行う。生命倫理や政治・経済など、より社会的で高度な題材を取り上げ、論理・表現Ⅱでは「立論」から「反論」までのディベートを行う構成とした。ディベート中に使う表現にとどまらず、論理的思考を育む練習問題も設けることで、ディベートの基本である説得力のある立論と、相手の弱点を突く反論の技術を身につけられるよう構成した。

Part 5 ではエッセイライティングを行う。名前の姓名順という国際社会における日本人のアイデンティティに関する問題や、世界中で対策が急がれているマイクロプラスチックの問題など、世界を視野に入れた題材を取り上げ、パラグラフの構成や効果的な表現方法を学びながら、自分の意見を文章で伝える技術を培う。

Part 6 では創造的なライティング活動を行う。世界で親しまれる日本文化のひとつである俳句を題材として取り上げ、英語のリズムや語感に工夫を凝らしながら、俳句の翻訳活動や作品作りに取り組む。

⑤各課の構成は Part によって次のようにした。

○Part 1 (Lesson 1～Lesson 3) および Part 2 (Lesson 4～Lesson 6)

1) Warm Up: 課のトピックへの導入となる簡単な対話活動をするほか、次ページの Model を聞いて空欄補充問題を解くリスニング活動を行う。

2) Model: 実際のスピーチまたはプレゼンテーションを想定した英文で、課の題材内容・言語材料を提示している。内容理解を確認できるリスニング問題 TRUE OR FALSE を配置したほか、Model の英文をもとに音声や文法を学べるようになっている。また、ページ下部に配置した Improvement Tips では、発表を行う際に重要となるポイントを提示している。

3) Speech: 前ページの Model や Improvement Tips を例として参照しながら、手順を追ってスピーチまたはプレゼンテーションを作成し、練習し、発表する。

4) GRAMMAR COMPASS: 課の Model で学習した文法事項を整理しながら、文法を使う練習をする。  
→For a Better Speech(Part 1)および For a Better Presentation(Part 2):  
スピーチ、またはプレゼンテーションの内容や発表の仕方、評価の観点など、より詳しく活動の行い方を掲載した。

○Part 3 (Lesson 7～Lesson 8, For Effective Discussion)

1) Warm Up: 課のトピックへの導入となるリスニング活動を行った後、トピックに関する簡単な対話活動と、論理的思考を育む練習問題に取り組む。

2) Key Text 1 / Key Text 2: トピックの題材について異なる視点から書かれた英文を読み、論点や背景知識を学ぶ。各 Key Text の内容理解を確認する Comprehension を配置しているほか、英文をもとに音声や文法を学べるようになっている。

3) Skill Workout: トピックと関連したディスカッション例について、空欄補充問題を解いてディスカッション例を完成させた後、グループでロールプレイングを行う。ページ下部に配置した Improvement Tips では、ディスカッションを円滑に進めるための表現などを種類ごとに掲載した。

4) Discussion: トピックと関連した Discussion Question についてディスカッションを行う。前ページの Skill Workout や Improvement Tips を参照しながら、ディスカッションの手順を示したガイドにしたがってグループで対話を行う。対話をした後は、グループで話し合った内容について短い発表活動を行い、さらに自分の意見を短い英文にまとめる活動を行う。

5) GRAMMAR COMPASS: 課の Key Text で学習した文法事項を整理し、文法を使う練習をする。  
→For Effective Discussion: ディスカッションを円滑に進める表現について、司会進行と意見交換の2つの視点から整理し、掲載した。また、これらの表現を Part 3 の活動に活かすため、習得の場となる対話活動を掲載した。

○Part 4 (Lesson 9～Lesson 10)

1) Warm Up: 課のトピックへの導入となるリスニング活動を行った後、トピックに関する簡単な対話活動と、論理的思考を育む練習問題に取り組む。

2) Key Text 1 / Key Text 2: トピックの題材について賛成・反対の2つの立場から書かれた英文を読み、論点や背景知識を学ぶ。各 Key Text の内容理解を確認する Comprehension を配置しているほか、Key Text の英文をもとに音声や文法を学べるようになっている。また、Key Text を素材とした論理構成を問う練習問題も配置しており、ディベートに必要な論理的思考の強化を目指している。

3) Skill Workout: トピックと関連したディベート例について、空欄補充問題を解いてディベート例を完成させた後、グループでロールプレイングを行う。また、ページ下部に配置された Improvement Tips では、ディベートでの立論・反論を有利に進める表現などを種類ごとに掲載している。

4) Debate: トピックと関連した Proposition についてディベートを行う。前ページの Skill Workout や Improvement Tips を参照しながら、ディベートの手順を示したガイドにしたがって、グループでディベートを行う。ディベートをした後は、グループで討論した内容について短い発表活動を行い、さらに自分の意見を短い英文にまとめる活動を行う。

5) GRAMMAR COMPASS: 課の Key Text で学習した文法事項を整理し、文法を使う練習をする。  
→Mini-Debate: Part 4 ではディベートのうち、「立論」と「反論」のみを取り扱ったが、実際のディベートではさらに「質疑応答」、「防御（再反論）」、「総括」のプロセスがあることを紹介する。また、Part 4 の命題や他の命題を活用しながら、「質疑応答」「防御（再反論）」に挑戦させる。

○Part 5 (Lesson 11～Lesson 12)

- 1) Introduction: 課のトピックへの導入となる短い文章を読む。
- 2) Warm Up: 課のトピックについて理解を深めるリスニング活動を行った後、トピックに関する簡単な対話活動に取り組む。
- 2) Key Text 1 / Key Text 2: トピックの題材について異なる視点から書かれた英文を読み、論点や背景知識を学ぶ。各 Key Text のパラグラフ構成を確認する Comprehension を配置しているほか、エッセイで使える効果的な表現方法を Improvement Tips に、トピックに関するより詳細な情報を FOR MORE INFORMATION として掲載している。また、Key Text の英文をもとに文法を学ぶ。
- 3) Preparation: Improvement Tips で学んだ内容を身に付ける練習問題に取り組んだ後、ライティングの準備として、トピックに関する情報を集める活動に取り組む。
- 4) Essay Writing: 前ページの Key Text や Improvement Tips を参照しながら、手順を追ってアウトラインを作成し、エッセイを作成する。
- 5) GRAMMAR COMPASS: 課の Key Text で学習した文法事項を整理し、文法を使う練習をする。

○Part 6 (Lesson 13)

- 1) Step 1: 芭蕉の有名な俳句の翻訳を行った後、同じ俳句がどのように翻訳者たちによって訳されているかを比較し、英語俳句の特徴を学ぶ。
- 2) Step 2: 英語俳句の構成やルールを学び、よい英語俳句を作るためのポイントを確認する。
- 3) Step 3, 4: 俳句作りに取り組む。

⑥英語を聞く力を強化するため、巻末には Part 1～2 に関連した難易度の高いリスニング問題を Give It a Shot として掲載した。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容 第2款 第5論理・表現Ⅱ 2内容, 3内容の取扱い	該当箇所	配当 時数
<u>Lesson 1</u> Warm Up Model EXPRESSIONS / True or False Sounds / GRAMMAR Improvement Tips Speech FOR YOUR USE GRAMMAR COMPASS	2(3)①イ(ア) 2(3)②ア(ア) 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ウ,エ) 2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア) / 2(2)ア 2(3)②イ(ア) / 2(1)ア(ア,イ) 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ) 2(2)イ 2(3)①ウ(ア,イ), ②ア(ア) 2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア) 2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①イ(ア),②ア(ア),イ(イ,ウ,エ)	7 頁 8 頁 8 頁 8 頁 8 頁 9 頁 9 頁 10 頁	3
<u>Lesson 2</u> Warm Up Model EXPRESSIONS / True or False Sounds / GRAMMAR Improvement Tips Speech FOR YOUR USE GRAMMAR COMPASS	2(3)①イ(ア) 2(3)②ア(ア) 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(イ,ウ,エ,オ) 2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア) / 2(2)ア 2(3)②イ(ア) / 2(1)ア(ア,イ) 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ) 2(2)イ 2(3)①ウ(ア,イ), ②ア(ア) 2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア) 2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①エ(ア), ②ア(ア,イ),イ(イ,ウ,エ,オ)	11 頁 12 頁 12 頁 12 頁 12 頁 13 頁 13 頁 14 頁	3
<u>Lesson 3</u> Warm Up Model EXPRESSIONS / True or False Sounds / GRAMMAR Improvement Tips Speech FOR YOUR USE GRAMMAR COMPASS	2(3)①イ(ア) 2(3)②ア(ア) 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(イ,エ) 2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア) / 2(2)ア 2(3)②イ(ア) / 2(1)ア(ア,イ) 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ,オ) 2(2)イ 2(3)①ウ(ア,イ), ②ア(ア) 2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア) 2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①ウ(ア),②ア(ア),イ(イ,ウ,エ,オ)	15 頁 16 頁 16 頁 16 頁 16 頁 17 頁 17 頁 18 頁	3
For a Better Speech	2(1)ア(ア,イ) 2(3)①ア,ウ(ア,イ) 2(3)②ア(ウ),イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	19-21 頁	※

Speaking & Listening Project①	2(3)②イ(ア)	22-23 頁	※
<u>Lesson 4</u> Warm Up Model EXPRESSIONS / True or False Sounds / GRAMMAR Improvement Tips Presentation FOR YOUR USE GRAMMAR COMPASS	2(3)①イ(ア) 2(3)②ア(ア) 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ,オ) 2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア) / 2(2)ア 2(3)②イ(ア) / 2(1)ア(ア,イ) 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ,オ) 2(2)イ 2(3)①ウ(ア,イ), ②ア(ア) 2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア) 2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①イ(ア),②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,オ)	25 頁 26 頁 26 頁 26 頁 26 頁 27 頁 27 頁 28 頁	4
<u>Lesson 5</u> Warm Up Model EXPRESSIONS / True or False Sounds / GRAMMAR Improvement Tips Presentation FOR YOUR USE GRAMMAR COMPASS	2(3)①イ(ア) 2(3)②ア(ア) 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ,オ) 2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア) / 2(2)ア 2(3)②イ(ア) / 2(1)ア(ア,イ) 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ) 2(2)イ 2(3)①ウ(ア,イ), ②ア(ア) 2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア) 2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①エ(ア),②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,オ)	29 頁 30 頁 30 頁 30 頁 30 頁 31 頁 31 頁 32 頁	4
<u>Lesson 6</u> Warm Up Model EXPRESSIONS / True or False Sounds / GRAMMAR Improvement Tips Presentation FOR YOUR USE GRAMMAR COMPASS	2(3)①イ(ア) 2(3)②ア(ア) 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ) 2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア) / 2(2)ア 2(3)②イ(ア) / 2(1)ア(ア,イ) 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ) 2(2)イ 2(3)①ウ(ア,イ), ②ア(ア) 2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア) 2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①ウ(ア),②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ)	33 頁 34 頁 34 頁 34 頁 34 頁 35 頁 35 頁 36 頁	4
For a Better Presentation	2(1)ア(ア,イ) 2(3)①ア,ウ(ア,イ) 2(3)②ア(ウ),イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	37-39 頁	※
Speaking & Listening Project②	2(3)②イ(ア)	40-41 頁	※
<u>Lesson 7</u> Warm Up  FOR YOUR USE Key Text 1  EXPRESSIONS Comprehension / GRAMMAR Key Text 2  Comprehension / Sounds Skill Workout Improvement Tips Discussion  FOR YOUR USE GRAMMAR COMPASS	2(1)ア(ア,イ) 2(3)①イ(ア) 2(3)②ア(ア,イ),イ(イ,ウ,エ) 2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア) 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア,イ) 2(3)②イ(ア,イ,ウ,エ,オ) 2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア) 2(2)ア / 2(1)ア(ア,イ) 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア,イ) 2(3)②イ(ア,イ,ウ,エ,オ) 2(2)ア / 2(3)②イ(ア) 2(1)ア(ア) 2(3)②ア(ア,ウ),イ(ア,イ,ウ,エ,オ) 2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア,ウ),イ(ウ,エ,オ) 2(1)ア(ア) 2(2)ア,イ 2(3)①イ(ア,イ),ウ(ア),エ(ア) 2(3)②ア(ウ) ②イ(ア,イ,ウ,エ,オ) 2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①エ(ア),②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ)	43 頁  43 頁 44 頁  44 頁 44 頁 45 頁  45 頁 46 頁 46 頁 47 頁  47 頁 48 頁	6
<u>Lesson 8</u> Warm Up  FOR YOUR USE Key Text 1	2(1)ア(ア,イ) 2(3)①イ(ア) 2(3)②ア(ア,ウ),イ(ウ,エ) 2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア) 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア,イ) 2(3)②イ(ア,ウ,エ,オ)	49 頁  49 頁 50 頁	6

EXPRESSIONS	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア)	50 頁	
Comprehension / Sounds	2(2)ア / 2(3)②イ(ア)	50 頁	
Key Text 2	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア,イ) 2(3)②イ(ア,ウ,エ,オ)	51 頁	
Comprehension / GRAMMAR	2(2)ア / 2(1)ア(ア,イ)	51 頁	
Skill Workout	2(1)ア(ア) 2(3)②ア(ア,ウ),イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	52 頁	
Improvement Tips	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア,ウ),イ(イ,ウ,エ,オ)	52 頁	
Discussion	2(1)ア(ア) 2(2)ア,イ 2(3)①イ(ア,イ),ウ(ア),エ(ア)	53 頁	
FOR YOUR USE	2(3)②ア(ウ) ②イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	53 頁	
GRAMMAR COMPASS	2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①エ(ア),②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ)	54 頁	
For Effective Discussion	2(1)ア(ア,イ) 2(3)①ア,イ(ア,イ) 2(3)①イ(ア) ②ア(ア,ウ),イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	55-56 頁	※
Speaking & Listening Project③	2(3)②イ(ア)	57 頁	※
<u>Lesson 9</u>			
Warm Up	2(1)ア(ア,イ) 2(3)①イ(ア) 2(3)②ア(ア,ウ),イ(ウ,エ)	59 頁	
FOR YOUR USE	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア)	59 頁	
Key Text 1	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア,イ) 2(3)②イ(ア,ウ,エ)	60 頁	
EXPRESSIONS	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア)	60 頁	
Comprehension / GRAMMAR	2(2)ア / 2(1)ア(ア,イ)	60 頁	
Key Text 2	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア,イ) 2(3)②イ(ア,ウ,エ)	61 頁	6
Comprehension / Preparation for Debate	2(2)ア / 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②イ(ウ,エ)	61 頁	
Skill Workout	2(1)ア(ア) 2(3)②ア(ア,ウ),イ(ア,ウ,エ)	62 頁	
Improvement Tips	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア,ウ),イ(ア,ウ,エ)	62 頁	
Debate	2(1)ア(ア) 2(2)ア,イ 2(3)①イ(ア,イ),エ(ア)	63 頁	
FOR YOUR USE	2(3)②ア(ウ) ②イ(ア,ウ,エ)	63 頁	
GRAMMAR COMPASS	2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①エ(ア),②ア(ア),イ(イ,ウ)	64 頁	
<u>Lesson 10</u>			
Warm Up	2(1)ア(ア,イ) 2(3)①イ(ア) 2(3)②ア(ア,ウ),イ(ウ,エ)	65 頁	
FOR YOUR USE	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア)	65 頁	
Key Text 1	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア,イ) 2(3)②イ(ア,ウ,エ)	66 頁	
EXPRESSIONS	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア)	66 頁	
Comprehension / GRAMMAR	2(2)ア / 2(1)ア(ア,イ)	66 頁	
Key Text 2	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア,イ) 2(3)②イ(ア,ウ,エ)	67 頁	6
Comprehension / Preparation for Debate	2(2)ア / 2(1)ア(ア) 2(3)②イ(ウ,エ)	67 頁	
Skill Workout	2(1)ア(ア) 2(3)②ア(ア,ウ),イ(ア,ウ,エ)	68 頁	
Improvement Tips	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア,ウ),イ(ア,ウ,エ)	68 頁	
Debate	2(1)ア(ア) 2(2)ア,イ 2(3)①イ(ア,イ),ウ(ア),エ(ア)	69 頁	
FOR YOUR USE	2(3)②ア(ウ) ②イ(ア,ウ,エ)	69 頁	
GRAMMAR COMPASS	2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①エ(ア),②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	70 頁	
Mini-Debate	2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①ア,イ(ア,イ) 2(3)②ア(ウ),イ(ア,ウ,エ,オ)	71-72 頁	※
Speaking & Listening Project④	2(3)②イ(ア)	73 頁	※
<u>Lesson 11</u>			
Introduction	2(1)ア(ア) 2(3)②ア(ア),イ(ウ)	75 頁	6
Warm Up	2(1)ア(イ) 2(3)①イ(ア)	75 頁	

EXPRSIONS Key Text 1	2(3)②ア(ア,ウ),イ(ウ,エ) 2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア) 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア) 2(3)②イ(ア,イ,ウ,エ)	75 頁 76 頁	
Improvement Tips	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ウ),イ(イ,ウ,エ)	76 頁	
EXPRESSIONS	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア)	76 頁	
POINTS	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ウ),イ(ア,ウ,エ)	76 頁	
GRAMMAR	2(1)ア(ア,イ)	76 頁	
FOR MORE INFORMATION	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア,ウ),イ(ウ,エ)	76 頁	
Key Text 2	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア) 2(3)②イ(ア,イ,ウ,エ)	77 頁	
Comprehension	2(2)ア	77 頁	
Improvement Tips	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ウ),イ(イ,ウ,エ)	77 頁	
EXPRESSIONS	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア)	77 頁	
POINTS	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ウ),イ(ア,ウ,エ)	77 頁	
FOR MORE INFORMATION	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア,ウ),イ(ウ,エ)	77 頁	
Preparation	2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ	78 頁	
Essay Writing	2(2)ア,イ 2(3)①エ(ア,イ), ②ア(ア,ウ)	79 頁	
GRAMMAR COMPASS	2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①エ(ア),②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ)	80 頁	
<u>Lesson 12</u>			
Introduction	2(1)ア(ア) 2(3)②ア(ア),イ(ウ)	81 頁	
Warm Up	2(1)ア(イ) 2(3)①イ(ア) 2(3)②ア(ア,ウ),イ(ウ)	81 頁	
EXPRSIONS	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア)	81 頁	
Key Text 1	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア) 2(3)②イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	82 頁	
Improvement Tips	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ウ),イ(ア,ウ,オ)	82 頁	
EXPRESSIONS	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア)	82 頁	
POINTS	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ウ),イ(ア,ウ,エ)	82 頁	
GRAMMAR	2(1)ア(ア,イ)	82 頁	
FOR MORE INFORMATION	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア,ウ),イ(ウ,エ)	82 頁	7
Key Text 2	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア) 2(3)②イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	83 頁	
Comprehension	2(2)ア	83 頁	
Improvement Tips	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ウ),イ(ア,イ,ウ,エ)	83 頁	
EXPRESSIONS	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア)	83 頁	
POINTS	2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ウ),イ(ア,ウ,エ)	83 頁	
FOR MORE INFORMATION	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア,ウ),イ(ウ,エ)	83 頁	
Preparation	2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ	84 頁	
Essay Writing	2(2)ア,イ 2(3)①エ(ア,イ), ②ア(ア,ウ)	85 頁	
GRAMMAR COMPASS	2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①エ(ア),②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	86 頁	
Paragraph Writing	2(1)ア(ア,イ) 2(3)①ア,エ(ア,イ) 2(3)②ア(ウ),イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	87-88 頁	※
Speaking & Listening Project⑤	2(3)②イ(ア)	89-90 頁	※
<u>Lesson 13</u>			
Step 1	2(1)ア(イ) 2(2)イ 2(3)②ア(ウ),イ(イ)	92 頁	
Step 2	2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ウ),イ(イ)	93 頁	
Step 3	2(1)ア(イ) 2(2)イ 2(3)②ア(ウ),イ(イ)	94 頁	2
Step 4	2(1)ア(イ) 2(2)イ 2(3)②ア(ウ),イ(イ)	94 頁	
Season Words	2(1)ア(イ) 2(2)イ 2(3)②ア(ア,ウ),イ(イ,ウ)	95 頁	
Speaking & Listening Project⑤	2(3)②イ(ア)	96 頁	※
Give It a Shot	2(2)ア 2(3)ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ)	98-99 頁	※
		計	60

<注>\*総授業数は、週2時間、年間約30週として計算し、60時間とした。

\*各Part後のコラム、Speaking & Listening Project、Give It a Shotについては各学校での弾力的運用を想定している。(※)



